

未練はない。でもやっぱり物理が好き

飛び入学 76人卒業

千葉大、98年度から実施

飛び入学は、「高校に2年以上在籍した特優れた資質を持つ17歳以上の生徒」に大学の入学資格を認める制度。中央教育審議会が1997年6月に制度化を答申し、翌98年に千葉大が導入した。文部科学省によると2019年度入試では全国8大学が実施した。

千葉大では昨年までに76人が卒業した。卒業後の進路は、大学教員や研究機関の研究員が12人、民間企業への就職は43人で、佐藤さんもここに含まれる。

佐藤さんと同じく初代合格者となった堀田晴司さん(59)は豊田中央研究所に入った。トヨタとともに自動車部品の材料開発に向けた研究などを進めていく。

堀田さんは、学生時代に佐藤さんが「物理屋にならなかったら、トラックの運ちゃんになる」と語っていたのを今も覚えていて「ポストや生活が安定せず、研究を始めた人が多い。自分も大学では難しいと感じ、民間の研究機関に入った。このままだと日本の科学技術はどうなるのか? といつぱりはある」と堀田さんは語った。

もう1人の初代合格者、松尾圭さん(39)は大学で宇宙物理学を専攻していたが、大学院時代に千葉県の政策提案に関わったことで社会科学院分野に転向。現在は、千葉市的生活自立・仕事相談センターで相談支援員として働いている。



中学生2年の男子生徒の家庭教師を務める
佐藤さん(2月14日、千葉県成田市)

トレー...トランク手の仕事
で、今年で10年目。

佐藤さんは正社員として、家族3人が暮らす。妻の佐藤みゆきさん(31)は、4年前に千葉県内に転居を決意した。週末はささやかな食事やお出で。

妻の松尾さんは「妊娠をして

ができない」と嘆か

く見せる。

研究の道に迷わずばな。

でも、物理が好きで、教

えてくれたのが、今も

心のよきだ。だから今も

やり合いで子供の家庭教師を

引き受けている。

2月中旬、中学生2年の生徒

(14歳)が理科の勉強をみ

た。学習書には電気回路の公

式が載っているが、「高いお

やけ」この公式なくとも解け

る」とほくそ笑む。

頭を整理すれば、知つて

いる計算で解けるんだ」と

アドバイスすると、生徒は自

分で計算を組み、正解を導き

出した。「すごい! ジェンヌある

ね」とほくそ笑む。「ほくそ笑

うになれるかな」と照れ笑い

が返ってきた。

もし研究の仕事があれば

たぶん続けるんだと思つ。

でも考えて仕事はない。今は

与えられた積み重ねしっかり

と目的達成感。

「アレは、バスクールの

原理」とか、車の運転って結

構、物理に関係あるんです

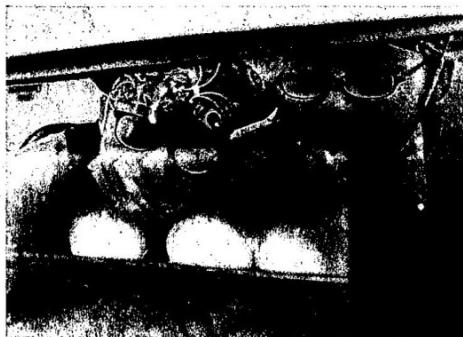
よ」。朗らかに笑って、佐藤

さんは今日も大汗でハンドル

を切る。

教育

日経

学ぶ
磨く
育つ

きわめる。■

■家政科@

オープンの中をのぞいていた
八高校1年の山本七菜帆さん。
製パン実習の先生から「も
つとこねた方がいいよ」「形は
丈夫?」と心配されたが、出
来上がりを見ると目を輝かせ
た。「これは完璧だよ」。き
れいに焼き上がったコッペパン
に自信有りの表情だ。

(東京都八丈町)

新年度の授業不安 4割

子どもが授業についているか心配――。保護者の調査は2月、20~50代の女性1千人に実施した。うち小学生から大学生までの子がいる20人に複数回答を尋ねた。授業について心配する人は全体で41%を心配する人は金体で41%を最多。小学生は47%、中高生は45%だった。大学生は「寝坊や遅刻をしないか」がトップで34%、授業への心配を7%上回った。

全体では「新しい学校・クラスになじめるか」が33%、「ストレスをため込まないか」が30%で続き、精神面への影響を心配する親が自立った。

子どもの新年度に関して心配なこと

心配なこと	割合 (%)
授業についているか	40
寝坊や遅刻をしないか	34
先生との相性がいいか	30
新しい学校・クラスの雰囲気になじめるか	33
新生活のストレスをため込まないか	30

「これが日本生活協同組合連合会の「春の新生活スタートに関する調査」で分かった。

（東京）